

2024年10月28日

報道関係各位

GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社

GMO イエラエ 「Automotive CTF 2024 グローバル決勝」で 日本代表として世界 2 位に輝く ～自動車サイバーセキュリティの専門知識と技術を競うコンテストで奮闘～

GMO インターネットグループでサイバー攻撃対策事業を展開する GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社（代表取締役 CEO：牧田 誠 以下、GMO サイバーセキュリティ by イエラエ）の脆弱性調査・研究チーム「GMO イエラエ」は、2024年10月21日(月)に米国ミシガン州デトロイトで開催されたサイバーセキュリティに関する専門知識や技術力を競い合う自動車サイバーセキュリティコンテスト「Automotive CTF（オートモーティブ キャプチャー・ザ・フラッグ）2024 グローバル決勝(主催：VicOne、Block Harbor Cybersecurity)」で世界 2 位を獲得しました。



【「Automotive CTF 2024 グローバル決勝」について】

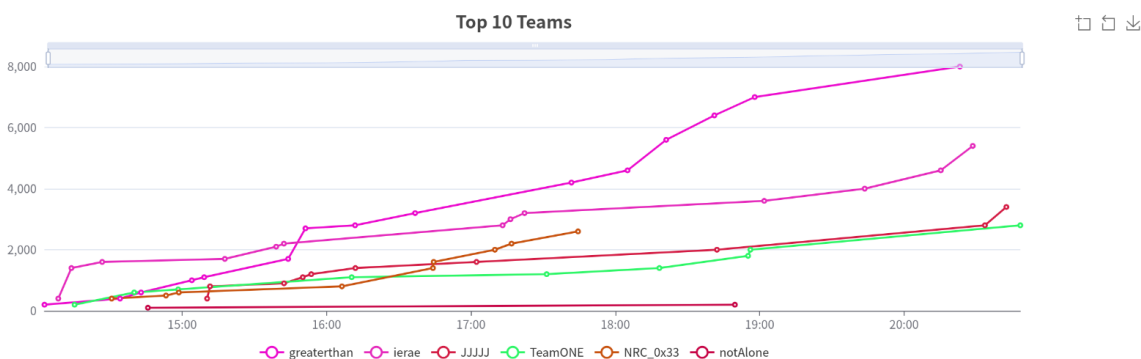
(<https://vicone.com/automotive-ctf>)

「Automotive CTF 2024 グローバル決勝」は自動車業界向けにサイバーセキュリティソフトウェアなどを提供する VicOne と自動車サイバーセキュリティエンジニアリング企業の block harbor cybersecurity が主催しています。自動車業界のサイバーセキュリティに関する意識と認知を高め、専門知識を向上させるためのトレーニング機会を提供し、業界内外で専門性の高いセキュリティ人材のコミュニケーションの場を作ることを目的としたセキュリティコンテストです。

日本からは「Automotive CTF Japan」で優勝・準優勝を果たした2チームが「Automotive CTF 2024 グローバル決勝」に参加^(※1)。米国、ドイツ、韓国、スウェーデンなどその他の国からの参加チームも含めて合計6チームが最終優勝者の座をかけて競い合いました。

「Automotive CTF 2024 グローバル決勝」では今回はダイナミックスコアリングという、多くのチームが解いた問題ほどその問題の点数が低くなるという形式を採用しています。GMO イエラエは5400点を獲得し世界2位となりました。

(※1) 2024年9月18日(水)「GMO イエラエ 経産省主催の自動車サイバーセキュリティコンテスト「Automotive CTF Japan」で全国1位に」: <https://gmo-cybersecurity.com/news/20240918/>



Place	Team	Score
1	greaterthan	8000
2	ierae	5400
3	JJJJJ	3400
4	TeamONE	2800
5	NRC_0x33	2600
6	notAlone	200

「Automotive CTF 2024 グローバル決勝」スコアボード

【参加メンバーの感想】

競技中はスコアボードの公開がなく表彰式まで結果がわからなかったため、発表の際はとても緊張していました。普段の業務で培ってきた車載システムやCAN^(※2)に対する攻撃の経験が反映された結果だと受け止めています。この大会に日本代表として出場できたことを嬉しく思います。来年は世界1位を取れるよう、さらに頑張りたいと思います。

(高度解析部 高度解析課 古川和祈)

(※2) CAN とは…「Controller Area Network」の略。ISO11898 で規格化され、自動車 LAN の標準プロトコルに位置づけられている。



2024年10月23日(水) 「Automotive CTF」表彰式の様子

(左から：高度診断部 アプリケーションセキュリティ課 山崎 啓太郎、高度解析部 高度解析課 古川和祈)

【ホワイトハッカーによる自動車へのサイバーセキュリティソリューション】

自動車には様々な IoT 機器が搭載されているため、サイバーセキュリティはこれまでも重視されてきましたが、コネクテッドカー^(※3) や自動運転車の普及に伴い、今後ますます重要になっていくと考えられます。

GMO サイバーセキュリティ by イエラエには、日本や世界各国で行われるハッキングコンテストでサイバーセキュリティに関する技術を磨いたホワイトハッカーが多数在籍しています。そのノウハウを生かした IoT ペネトレーションテスト^(※4) では、ハードウェア解析、ソフトウェア解析(ファームウェア解析)、動的解析などの多様な観点から解析を行い、自動車におけるセキュリティ上の問題を可視化し対策案を提示いたします。

(※3) インターネットに接続され、リアルタイムでデータを送受信する車両のこと。

(※4) 攻撃者の視点で IoT デバイスに対し疑似的な攻撃を行いセキュリティ上の欠陥がないか評価するテスト。

■自動運転車や IoT に関するセキュリティソリューション

IoT ペネトレーションテスト：<https://gmo-cybersecurity.com/service/assessment/iot>

ドローン/eVTOL 診断：<https://gmo-cybersecurity.com/service/assessment/iot/drone/>

【世界トップクラスのホワイトハッカーで構成される「GMO イエラエ」】

「GMO イエラエ」は、GMO サイバーセキュリティ by イエラエに所属するホワイトハッカーやトップエンジニアの知見やノウハウを集約し、社会に対する発信や、セキュリティ対策サービスやプロダクトの提供を通じて、社会に還元することを目的とした脆弱性調査・研究チームです。今後も国内外のセキュリティコンテストやバグバウンティ^(※5)への挑戦、セキュリティカンファレンスの開催などを通じて、その専門知識を広く発信し、日本や世界のセキュリティ技術や意識を高め、より安全な社会の実現を目指します。

(※5) 製品やサービスにおける脆弱性の発見者に報奨金を支払う公開制度

【GMO サイバーセキュリティ by イエラエについて】 (<https://gmo-cybersecurity.com/>)

GMO サイバーセキュリティ by イエラエは、国内最大規模のホワイトハッカーで組織されたサイバーセキュリティのプロフェッショナルカンパニーです。GMO サイバーセキュリティ by イエラエは、「世界一のホワイトハッカーの技術力を身近に」を目指して、ホワイトハッカーによる攻撃者目線のセキュリティ対策を提供しています。「GMO イエラエ」の活動を通じて、最先端の攻撃手法に対する理解をさらに深め、サービス品質の向上にいかしてまいります。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社

マーケティング部広報担当 伊礼

TEL : 03-6276-6045

E-mail : irei@gmo-cybersecurity.com

●GMO インターネットグループ株式会社

グループ広報部 PR チーム 田部井

TEL : 03-5456-2695

お問い合わせ : <https://www.gmo.jp/contact/press-inquiries/>

【GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社】(URL : <https://gmo-cybersecurity.com/>)

会社名	GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役 CEO 牧田 誠
事業内容	■ Web アプリ及びスマホアプリ脆弱性診断 ■ ペネトレーションテスト ■ 不正利用(チート)診断 ■ IoT 脆弱性診断 ■ 自動車脆弱性診断 ■ フォレンジック調査 ■ CSIRT 支援 ■ クラウドセキュリティ診断 ■ クラウドセキュリティ・アドバイザー
資本金	1 億円

【GMO インターネットグループ株式会社】(URL : <https://www.gmo.jp/>)

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2024 GMO Cybersecurity by Ierae, Inc. All Rights Reserved.